



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月29日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小樋 誠二
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)西崎 友彦 (TEL)06(6202)3376
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	886	△10.8	△17	—	10	△59.1	8	△61.3
2020年3月期第1四半期	993	4.6	13	△73.2	24	△57.1	21	△50.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.60	—
2020年3月期第1四半期	9.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,111	2,092	40.9
2020年3月期	4,814	2,073	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,092百万円 2020年3月期 2,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	2,338,001株	2020年3月期	2,338,001株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	19,401株	2020年3月期	19,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	2,318,600株	2020年3月期1Q	2,318,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の抑制の影響を受け、急速に悪化し、極めて厳しい状況で推移いたしました。

海外においても、一部で経済活動再開の動きが本格化するものの、中国、米国等において、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向を示し、経済の不確実性への懸念が高まっております。

このような状況下、当社は利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び原価低減活動に注力しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による受注低迷を受け、一部に臨時休業を実施する等厳しい状況が続いております。

売上高は、前期より縮小傾向にあった半導体市場や自動車業界がさらに打撃を受け需要が落ち込んだことから、タングステン・モリブデン製品及び自動車用電極部品の販売が減少したことにより、886百万円(前年同四半期 993百万円)と前年同四半期比10.8%の大幅な減収となりました。

損益面は、販売の大幅な減少に対し、材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などに努めたものの、固定費を吸収するまでには至らず、営業損失17百万円(前年同四半期 営業利益13百万円)となりました。

営業外収益は雇用調整助成金等により31百万円となり、営業外費用は支払利息等により3百万円となりました。

結果、経常利益は10百万円(前年同四半期 24百万円)、四半期純利益は8百万円(前年同四半期 21百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品の売上高は、前期に引き続き半導体市場に加え自動車業界の需要低迷により、269百万円(前年同四半期 349百万円)と22.8%の減収となりました。

合金及び電気・電子部品の売上高は、光通信用タングステン合金が好調に推移し、181百万円(前年同四半期 145百万円)と24.4%の増収となりました。

その他製品は、自動車用電極部品が減少し、売上高は329百万円(前年同四半期 391百万円)と15.7%の減収となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は780百万円(前年同四半期 886百万円)と11.9%の減収となり、固定費の吸収が追いつかず、営業損失は8百万円(前年同四半期 営業利益21百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金はトンネル工事等の中断、遅延等により、新規受注の停滞がみられ、売上高は105百万円(前年同四半期 107百万円)と1.9%の減収となり、営業損失8百万円(前年同四半期 7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,041百万円(前事業年度末 2,733百万円)となり、307百万円増加しました。主たる要因は、現金及び預金の増加238百万円、原材料及び貯蔵品の増加143百万円及び仕掛品の減少113百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は2,070百万円(前事業年度末 2,081百万円)となり、11百万円減少しました。主たる要因は、有形固定資産の減少25百万円及び投資有価証券の増加13百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,060百万円(前事業年度末 1,690百万円)となり、369百万円増加しました。主たる要因は、短期借入金の増加277百万円及び支払手形及び買掛金の増加63百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は958百万円(前事業年度末 1,050百万円)となり91百万円減少しました。主たる要因は、長期借入金の減少70百万円及び役員退職慰労引当金の減少22百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,092百万円(前事業年度末 2,073百万円)となり18百万円増加しました。主たる要因は、その他有価証券評価差額金の増加10百万円及び四半期純利益8百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症は、国内外で感染者数が再び増加に転じる等終息の気配を見せておらず、その対策に伴う経済活動への影響により、受注動向は非常に不透明な状況が続いております。そのような中、業績予想につきましては合理的に算定することが困難であると判断し、引き続き未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,320	572,514
受取手形及び売掛金	892,721	903,165
電子記録債権	163,642	171,560
商品及び製品	50,812	60,234
仕掛品	851,002	737,915
原材料及び貯蔵品	395,856	539,607
その他	45,062	56,047
貸倒引当金	△211	—
流動資産合計	2,733,207	3,041,043
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	692,156	666,793
有形固定資産合計	1,474,942	1,449,578
無形固定資産	13,510	12,055
投資その他の資産		
投資有価証券	499,326	513,239
その他	106,260	107,932
貸倒引当金	△12,732	△12,732
投資その他の資産合計	592,853	608,439
固定資産合計	2,081,307	2,070,073
資産合計	4,814,514	5,111,117
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,554	236,729
電子記録債務	212,677	204,926
短期借入金	955,000	1,232,500
未払法人税等	9,034	7,788
賞与引当金	57,139	83,202
その他	283,493	295,014
流動負債合計	1,690,899	2,060,160
固定負債		
長期借入金	595,000	525,000
退職給付引当金	259,411	260,025
役員退職慰労引当金	76,952	54,345
その他	119,010	119,498
固定負債合計	1,050,374	958,869
負債合計	2,741,274	3,019,030

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△927,388	△919,050
自己株式	△27,804	△27,804
株主資本合計	1,814,429	1,822,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258,809	269,319
評価・換算差額等合計	258,809	269,319
純資産合計	2,073,239	2,092,087
負債純資産合計	4,814,514	5,111,117

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	993,829	886,371
売上原価	857,892	777,485
売上総利益	135,936	108,885
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	47,232	45,799
賞与引当金繰入額	9,195	6,470
役員退職慰労引当金繰入額	3,725	3,800
退職給付費用	2,651	2,845
減価償却費	3,616	6,550
貸倒引当金繰入額	△15,906	△211
その他の一般管理費	71,938	60,922
販売費及び一般管理費合計	122,452	126,176
営業利益又は営業損失(△)	13,484	△17,291
営業外収益		
助成金収入	-	20,400
受取利息及び配当金	13,106	9,893
その他	1,855	802
営業外収益合計	14,961	31,096
営業外費用		
支払利息	3,005	3,643
その他	655	21
営業外費用合計	3,660	3,664
経常利益	24,784	10,139
特別損失		
固定資産除却損	1,442	-
特別損失合計	1,442	-
税引前四半期純利益	23,342	10,139
法人税、住民税及び事業税	1,801	1,801
法人税等合計	1,801	1,801
四半期純利益	21,540	8,338

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。